

1. 背景とねらい

養豚では効率的な生産を行うために雑種利用が盛んである。岩手県においては、母豚の約75%、肉豚の95%以上が雑種で占められている。また、豚肉の大量消費、大量流通から、高品質で斉性の高い肉豚生産が求められるようになった。このような肉豚を生産するためには純粋種としての能力を高めるとともに、交雑種の斉性を向上させなければならない。そこで、品種内において、血縁が似通い、能力の優れた集団を作る、系統造成が行われるようになった。

岩手県では、昭和45年から53年にかけてランドレース種の系統豚イワテハヤチネを造成し、現在普及に努めているところである。しかし、イワテハヤチネを効率的に利用するためには、大ヨークシャー種の系統豚が不可欠である。今回、昭和54年から系統造成を行っていた大ヨークシャー種は、6世代豚の選抜を終了して系統豚としての認定条件を満たし、62年には系統認定（仮称、イワテハヤチネW）を受ける予定となったので、ここに、大ヨークシャー種系統豚の能力を普及奨励事項に供する。

2. 技術の内容

(1) 産肉能力

イワテハヤチネWの主要形質の数値及び全国平均、改良目標は次の通りであった。イワテハヤチネWは1日平均増体重が特に素晴らしい系統となった。

	育成豚（雄）		調査豚（去勢）		
	1日平均 増体重	背脂肪 の厚さ	ロース 断面積	ハムの 割合	背腰長 II
岩手1群1)	912 g	1.57 cm	19.8 cm ²	31.4 %	69.1 cm
〃 2群	922	1.65	18.7	31.1	68.8
全国成績2)	713	1.47	18.9	32.7	69.2
改良目標3)	790	2.2	21	33	70

1) 6世代豚、背脂肪は10部位平均

2) 59年直接検定、後代検定、背脂肪は体長1/2部位

3) 昭和65年目標、背脂肪は調査豚3部位平均

この試験は国の指定試験としてなされたものであるが、同じ基礎集団と同じ選抜方法（1群のみ）を用いた宮崎県との比較（5世代、調査豚）では、地域環境の違いはあるが、岩手県の方が改良が進んだ。

(2) 選抜の効果

イワテハヤチネWの改良目標は1日平均増体重とロース芯断面積を大きくし、背脂肪を薄くするように計画され、6世代の選抜において、何れの形質もおおむね望ましい方向へ改良が進められた。

(3) 体型の特徴

イワテハヤチネWの体型は、頭部が比較的軽く、巾、深み、体長のある豚で、中軀の割合が高く、やや前がちながら、斉性のある、肢蹄の丈夫なミートタイプの豚である。

(4) 繁殖能力

基礎集団（子豚1世代）と5世代母豚（子豚6世代）の繁殖成績は表2の通りで、産子数は大ヨークシャー種の初産としては標準的な値である。離乳体重（5週齢）は、4世代以後増加し、ほ乳中の食い込みの良さが現れた。

(5) 血縁係数と近交係数

平均血縁係数は群としての遺伝的な斉一性の指標となり、系統認定の基準としては平均20%以上、どの個体間も10%以上でなければならない。血縁、近交係数は順調に上昇し、6世代豚の平均血縁係数は1群23.8%, 2群22.3%となり系統として十分な斉一性が得られた。

(6) ハロセンテストと肉質

フケ肉のでない系統を作るため、2群では、ハロセン陽性豚は繁殖に供さないようにしてきた。その結果、5, 6世代豚には陽性豚が出現しなかった。なお、この期間において、異常肉の発生は1度もみられず、肉質の理化学的な測定値は大ヨークシャー種としての水準を保っていた。特に、肉色は極めてよかった。

3. 指導上の留意点

今回同時に報告する参考事項(事項名: 系統間交雑種豚(WL)の育成方法と繁殖能力)を参考にする。詳細は管理マニュアルによる。

4. 参考資料

豚の地域環境別選抜第2次試験(指定試験)

第1回~第7回報告書

農林水産省畜産試験場

5. 試験成績

表1. 調査豚(去勢)の産肉能力

群	世代	日平均 増体重	枝肉 歩留	屠体長	背腰長 II	屠体幅	背脂肪 の厚さ	ロース 断面積	カタの 割合	ハムの 割合
I	2	844 g	66.5 %	92.2cm	68.2cm	32.7cm	2.55cm	20.1cm ²	33.8 %	32.0 %
	4	924	64.6	92.8	68.6	32.6	2.31	21.0	35.0	32.1
	6	952	67.1	93.1	69.1	32.9	2.42	19.8	34.5	31.4
II	2	832	66.1	93.3	68.9	33.0	2.61	18.4	33.9	31.3
	4	895	64.3	94.0	69.6	32.6	2.40	20.1	35.3	31.3
	6	935	66.0	92.9	68.8	32.8	2.54	18.7	35.0	31.1

表2. イワテハヤチネWの繁殖性

群	世代	1腹生	1腹産	育成率 (%)	子豚平均体重(kg)		
		産頭数	乳頭数		生時	3週	5週
基礎集団		9.02	7.74	86.0	1.05	5.05	8.04
I	5	10.00	7.56	88.3	1.13	5.06	9.42
II	5	9.60	7.60	88.0	1.18	5.29	9.68